

新榿原観光ガイドブック（日本語・外国語）作成業務 仕 様 書

1. 業務概要

榿原市の認知度向上及び榿原市への誘客を図るため、市内の名所旧跡、寺社仏閣、町並み、自然景観などの観光情報を分かりやすく掲載し、広く紹介するための榿原市観光ガイドブックを作成する。

また、インバウンド誘致の強化を念頭に置き、当該ガイドブックの外国語版として英語、韓国語、中国語繁体字、中国語簡体字も作成する。

2. 業務の目的

本市は令和8年の「飛鳥・藤原の宮都」世界遺産登録を控え、歴史文化の深奥を伝える「日本国はじまりの地」としての認知度向上、および宿泊客の主要層である首都圏・中京圏からの誘客促進が喫緊の課題となっている。

現行の観光ガイド「旅さらら」は発行から10年以上が経過し、掲載情報と観光客のニーズに乖離が生じている。本業務は、学術的な解説に偏重した従来のスタイルを脱却し、ダイナミックな視覚表現（写真・デザイン）を通じて、本市の魅力を直感的に伝えるツールへと全面的に刷新することを目的とする。

また、インバウンド需要の回復を見据え、単なる翻訳ではない「外国人目線での編集・再構成」を行い、国籍を問わず本市への来訪動機を創出する、戦略的な広報媒体として構築するものである。

3. 業務期間

契約締結日の翌日～令和9年2月26日

4. 業務内容

観光ガイドブック制作に係る企画立案、構成、デザイン・レイアウト、文章作成、イラスト作成、取材（取材先への交渉及び内容の確認を含む）、写真撮影（撮影に必要な手続き及びそれに係る費用の支払いを含む）、編集、校正、版下、製版、印刷、製本等、制作に必要なすべての業務を行うこと。

【日本語版】

- ・本市の魅力を十分に感じ取ることができる斬新で印象的なガイドブックを作成すること。
- ・視覚的に訴えるダイナミックな写真やイラストを使用し、思わず手に取ってみたいくなり、本市への訪問の動機付けとなるようなガイドブックを目指すこと。
- ・当該ガイドブックは、テーマごとに特集的な記事や魅力的な観光コースで構成するものとし、テーマには、必ず世界遺産「飛鳥・藤原の宮都」を含むものとする。
- ・写真は新規撮影を原則とするが、季節や天候、行催事の様子等、スケジュール的に撮影が困難な場合は、受託者が調達・収集すること。その場合も、写真全体の品質、トーンを極力そろえること。

- ・市内での周遊性を高め、滞在時間の延長が期待でき、読んで楽しく、理解しやすい内容とすること。
- ・旅前だけでなく、旅中まで、あらゆるシーンで使えるガイドブックを目指すこと。
- ・特産品やグルメ情報を掲載する場合には、原則として店舗名や商品名は不掲載とし、公平性に配慮した内容とすること。
- ・位置や距離関係が分かりやすい地図を内容に含めること。
- ・ユニバーサルデザインに配慮した色彩及びフォントを基本とすること。
- ・日本語版をもとに外国語版の作成も行うことから、外国人観光客も視野に入れ、分かりやすい内容となるよう心がけること。
- ・二次元コード等、デジタルツールの活用も視野に入れ、紙面では伝えきれない情報を伝える工夫をすること。
- ・編集、デザイン、レイアウトは橿原市の意向を反映させるとともに、独自に推薦できる提案があれば、積極的な提案を行うこと。
- ・企画編集完成品、写真原版の著作権、版權、使用権は市に帰属するものとする。

【外国語版】

- ・上記の外国語版として、①英語、②韓国語、③中国語繁体字、④中国語簡体字を作成すること。
- ・外国語版の制作においては、日本語版の単なる翻訳にとどまらず、インバウンド目線でも有効な内容となるよう、企画、編集、制作すること。なお、言語は日本語で確認する。
- ・発注者の承認を得た日本語の原稿について、それぞれ指定の言語に翻訳すること。
- ・翻訳にあたっては、翻訳者の他に最低1名以上のネイティブによるチェックを行うこと。チェックについては、日本の歴史・文化・伝統等に精通している者が好ましい。

5. 仕様

・印刷様式	オフセット印刷
・判 型	A4判
・色 番	全頁フルカラー印刷（4色以上刷り）
・頁 数	20頁程度（表紙・裏表紙含む）
・発行部数	日本語 40,000部 英語 3,000部 韓国語 3,000部 中国語繁体字 3,000部 中国語簡体字 3,000部
・製 本	中綴じ製本
・用 紙	表紙 コート 菊版 76.5kg程度 本編 コート 菊版 62.5kg程度
・イラスト作成	イラストマップを含む
・写 真	原則60点以上
・校 正	日本語版 文章校正3回以上、全体校正3回以上、色校正2回以上

・そ の 他

外国語版 文章校正 3 回以上 全体校正 3 回以上 色校正 1 回以上
ホームページ掲載用電子データ (PDF 形式)
インクは植物油インクを使用

6. 支払い

納品後の支払いとする。